

令和6年度教育委員会行動計画「具体的施策」の点検評価

1 生涯にわたって楽しく学び、生きがいに満ちた生涯学習の推進	実現状況			
	未実施	検討中	進行中	実施済
村民が生涯にわたり日常的に学習できる体制や施設を整備し、学習機会の多様な提供と参加者数の拡大を目指す。				
(1) 生涯学習推進体制の充実				
① 地域学校協働本部事業の活動充実	0	3	5	2
② 部活動の地域への体制づくり	0	8	2	0
③ 各種文化団体、サークル活動等への支援の充実	0	0	7	3
④ 子育て支援体制の整備	0	0	8	2
(2) ニーズに応じた特色ある講座・教室の運営				
① 幼・小・中学生を対象とした体験活動の推進				
□ チャレンジスクール（こども未来塾への移行）	1	0	5	3
□ その他、ふるさとキャリア教育に重点をおいた探究活動等	1	1	4	3
② 高校生や成人を対象とした講座の設定	0	3	5	2
③ 子育て世代を支援する講座の設定	1	4	1	3
④ シニア世代の生活に潤いを与える講座の設定	0	0	3	7
⑤ 在住外国人労働者への学習や交流の機会の提供	8	2	0	0
(3) 図書館の充実と読書活動の推進				
① 村民のニーズに即した図書の充実	0	0	7	3
② 移動図書館・移動本棚・図書の宅配便の実施	0	0	6	4
③ 村民参加の図書館行事の充実	0	0	6	4
④ 学校図書館とのネットワークの強化	1	4	3	1
(4) 青少年健全育成事業の効果的な推進				
① 各青少年育成団体との連携	2	0	7	2
② 青年非行防止活動の充実	0	0	7	3
③ 青少年の体験交流活動やボランティア活動の充実	3	2	3	2
(5) 社会教育関係団体活動の活性化と充実				
① PTA（父母と教師の会）の研修活動の支援	0	3	3	3
② 地域の中での子育て支援体制の充実	0	0	7	3

《教育委員評価》

① 部活動の地域への体制づくりの方向性がまだ見えていない状況であると思います。教職員の働き方改革との関連もあるので協議が必要であると考えます。
 少子化の影響もあると思いますが、チャレンジスクールに参加する子供たちが少なくなっているように感じます。
 ②文化教室など、企画、募集しても参加者が少ないと思う。高校生や働く世代などは参加が難しいと思われるが、生きがいや、幅広い世代間の交流を図るためにも、内容や募集方法を工夫をし、参加者が増えれば良いと思う。常に参加する方は同じような方が多いようなので、多くの村民に興味を持ってもらうのも課題である。図書館も本は最新刊を揃えたり、季節の本を展示して工夫されているが、利用者が少ない。カフェのようなイメージで、ゆっくり穏やかに本を楽しめる空間作りがあるといいと思う。（義務教育学校での図書館作りに期待する。）
 PTAの活動もコロナを境に希薄になっていると思う。必要最低限の学校とのつながりであるように感じる。
 ③子育て支援は充実している。その内容を村外に啓発活動してく必要があるのでは。部活動地域移行は何も進んでいないようだが今後どうするのか。

2 夢と希望をもって学び続ける子どもを育む学校教育の推進

幼保、小中学校のつながる教育の推進を通し、常に夢と希望をもち、その実現に向かって学び続ける子どもの育成を目指す。

実現状況

未実施	検討中	進行中	実施済
-----	-----	-----	-----

(1) 確かな学力と学習意欲の向上・育成する。

① 主体的な学びを重視し、学習習慣の確立に努める

- ☐ 学習訓練の徹底と「聴く」態度の育成
- ☐ 家庭学習習慣の確立

0	0	7	3
0	0	8	2

② 個別最適な学びと協働的な学びの実現に努める

- ☐ 個に応じた指導の確立と探究的な学習や体験活動の充実
- ☐ タブレット（1人1台端末）の有効活用
- ☐ 遠隔（リモート）学習環境の整備

0	0	8	2
0	0	6	4
1	1	4	3

③ 基礎・基本の徹底を通して学び方を学ぶ「学力向上推進事業（SUN3プランさめがわ）」を推進する。

- ☐ 定着や活用力を高める学習指導の工夫改善
- ☐ 表現力の育成を図る学習活動の工夫
- ☐ 学習効果を高めるICT機器（タブレット等）の活用

0	0	7	3
0	0	6	4
0	0	6	4

④ 教職員の資質向上・指導力の向上を図る。

- ☐ 校内研修の充実（「SUN3プランさめがわ」に沿った授業実践と「授業スタンダード」の活用、互見授業の推進）
- ☐ 授業での効果的なタブレット活用
- ☐ メンタルヘルス・学級経営相談体制の確立・実践

0	1	6	3
0	0	6	4
0	0	9	1

⑤ 幼小中連携教育「つなぐ教育」の一層の推進を図る。

- ☐ 幼・小・中学校など異校種間での積極的な交流と連携
- ☐ 12年間を見通した「つなぐ教育プラン」の推進

0	0	7	3
0	3	6	1

(2) 豊かな心の育成

① 道徳教育及び道徳の授業の充実

- ☐ 人命尊重・思いやり・あいさつ・規律の重点指導

0	0	6	4
---	---	---	---

② 人権教育の推進

- ☐ 偏見・差別をなくし、思いやりの心を育てる実践

0	0	7	3
---	---	---	---

③ 日常の生徒指導の充実

- ☐ 積極的な生徒指導の実践・いじめを許さない日常指導
- ☐ 不登校児童生徒への適切な対応
- ☐ QUテストの実施と活用
- ☐ 情報モラル指導の推進
(メディアコントロールの啓発、SNS等の利用など)

0	0	7	3
1	0	7	1
1	0	7	1
1	0	7	1

④ 豊かな心を育む読書の推進

0	0	8	2
---	---	---	---

(3) 健やかな身体の育成

① 望ましい生活習慣の確立

- ☐ 「早寝・早起き・しっかり朝ごはん」の生活リズムを重視した指導の継続を推進

0	0	7	3
---	---	---	---

② 教科体育の充実と体育日常化に向けた取り組み

- ☐ 児童・生徒の実態把握と学校での体力増強の工夫

0	0	7	3
---	---	---	---

③ 食育の充実

- ☐ 学年に応じた食育指導の実施
- ☐ 学校給食の充実

0	0	6	4
0	0	6	4

実現状況

未実施 検討中 進行中 実施済

④ 健康の保持増進に向けた指導の充実

☐ 新型コロナウイルスやインフルエンザなど感染症予防対策の強化	0	0	6	4
☐ むし歯予防・肥満対策の強化	0	0	6	4
☐ 命の安全教育（命と性に関する指導）の充実	0	1	6	3

（４）ニーズに応じた就学支援

① 特別支援教育に関する研修の充実	0	1	4	4
② 個別の教育支援計画等の作成と個に応じた指導・支援	0	1	4	5
③ 教育相談体制の確立				
☐ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携	1	0	6	3
④ 学習支援員の配置と活用	0	0	5	5

（５）村の特性を活かす特色ある教育「ふるさとキャリア教育」の推進

① 幼小中における「ふるさとキャリア教育」全体計画の改善	1	1	6	1
② 郷土愛を育む学習活動（「ふるさとキャリア教育」）の充実				
☐ 社会・自然・文化に直接触れる学習活動の展開	1	0	4	4
☐ 地域の文化・伝統行事への参加	1	0	4	4
③ 職場体験学習の充実	0	0	5	5
④ キャリアパスポートの作成と活用及び確実な引継ぎ	3	2	2	3

（６）家庭・地域・学校の密接な連携

① 地域の教育力を生かした活動の推進				
☐ コミュニティースクールへの移行	2	0	7	2
☐ 地域ボランティアの支援（外部の人材活用）	2	0	5	3
☐ 外部講師の活用・「学校に行こう週間」の実施	2	0	7	2
☐ 地域学校協働連携本部の設置	3	0	3	3
② 家庭・地域の教育力の向上				
☐ 家庭教育学級の実践	0	2	7	2
☐ 就学前、入学時における保護者の啓発	1	1	6	1
③ 地域とともに取り組む子どもの健全育成				
☐ 地域の行事・活動への積極的な支援	1	0	7	1
④ 積極的な情報発信				
☐ 教育関係の情報発信 （学校だより、学年だより、各校及び教育委員会HP等）	0	0	7	3
☐ 開かれた学校にするための自校の自己評価	0	0	4	6

（７）各園・学校の教育環境づくり

① 安全・安心な学校施設				
☐ 学校における施設・設備の安全点検の確実な実施	0	0	6	4
② 明るく元気な教職員を支える環境整備				
☐ 多忙化解消と働き方改革の推進→ 校務運営システムの運用	0	0	7	3

（８）義務教育学校（小中一貫教育校）開校に向けた取組みを促進する。

① 幼保小中教育連携協議会の定期的な開催	0	0	7	3
② 学校運営協議会の運用（コミュニティースクール）	0	0	7	3

《教育委員評価》

- ①タブレット(1人1台端末)の有効活用、授業での効果的なタブレット活用がまだ十分ではないと思います。有効活用できるような対策が必要であると考えます。
- 義務教育学校の開校に向けた取組みが急速に進み、幼小中連携教育「つなぐ教育」の将来が見えてきました。
- ②学校教育は、人数が少ないからこそ、個々の能力に応じ、先生方がフォローアップしていただき、学習する力が身についていると思う。小さい村に育ったからという理由で、夢を諦めることのないように、家庭、学校、地域が一体となり子どもの成長を見守りたい。また、ゲームやSNSの利用では各家庭でルールを決め、それを子どもがきちんと守れるように保護者の管理が必要。コミュニケーションの取れない大人にならないよう、会話を大切にしたい教育をしていきたい。
- ③児童生徒に寄り添い学校生活が楽しくなるような努力を先生方はしている。不登校者が出ない学校になるように課題解決やカウンセリングを繰り返し行い改善出来ればと思う。12年生のつなぐ教育実践の話し合いを進めて頂きたい。

3 村民の健康の保持増進を図る生涯スポーツの振興

実現状況

村民が健康で生涯にわたってスポーツが楽しめる体制や施設を整備し、生涯スポーツやニュースポーツの普及を推進する。

	未 実 施	検 討 中	進 行 中	実 施 済
(1) スポーツに関する啓発活動の推進	0	0	9	1
(2) スポーツ施設の計画的な整備充実				
① 各社会体育施設の補修・整備	1	0	9	0
(3) 生涯スポーツ推進体制の整備				
① 地域指導者の計画的な育成と有効活用の促進	0	4	4	1
② 生涯スポーツ関係団体(スポーツクラブなど)の育成・支援	0	0	7	3
③ 中学校部活動とクラブスポーツとの連携	2	5	3	0
(4) 生涯スポーツの振興				
① 競技スポーツの振興とニュースポーツ等の積極的な普及	0	0	7	3
② ふくしま駅伝等への参加	0	0	5	5
(5) 学校部活動の地域移行への準備	0	5	5	0

《教育委員評価》

- ①ふくしま駅伝に参加する選手が少なくなっている中、参加している選手たちは一生懸命頑張って結果を残していると思います。
- 各社会体育施設の補修・整備について、老朽化が進んでいる施設があるので安全面を考えながら、計画的な補修が必要であると思います。
- ②子どもの減少に伴い、団体スポーツを中心にやりたいスポーツができなかったり、部活がなくなったり、村外でスポーツする子どもも増えている。部活動の地域移行も含め、地元で楽しくスポーツができる環境が早期に整うといいと思う。高齢者は老人クラブ等で体操やゲートボールを行い、運動と他者との交流を楽しんでいるように感じる。子育て、働く世代が、健康のために運動をする機会が増えればよいと思う。
- ③スポーツクラブ主導で教室や体験会を行なっている。その中で小学生から中学生まで続けられるスポーツ(スポ少や部活)を一貫して活動できる体制にした方が(指導者問題があるが)今後児童生徒が少なくなるので考える必要と思う。部活地域移行にも繋がるのではないかな。

4 ふるさと鮫川を未来につなぐ文化芸術活動の推進

実現状況

村民が郷土を深く理解し、地域に根ざした活動をとおして、新しい文化の創造を推進する。

	未 実 施	検 討 中	進 行 中	実 施 済
(1) 伝統と創造性を兼ね備えた特色ある芸術文化活動の振興				
① 地域の歴史、伝統行事、文化活動の支援と振興	0	0	8	2
② 芸術文化団体活動の活性化と充実	0	2	7	2
③ 郷土文化の発掘と継承	0	2	7	2
④ 自主的文化団体への活動支援	0	0	8	2

(2) 文化財の保護と活用

① 郷土史の理解と文化財の愛護	0	2	7	2
② 文化財の保存・修復・伝承と活用	0	2	7	2
③ 歴史民俗資料館の整備	3	0	7	0
□ 保存物の整理と保存物品台帳（リスト）の作成	5	3	2	0
□ 展示物の整備と企画・特別展の実施	5	3	2	0

《教育委員評価》

①地域の資源である郷土文化について、次世代に繋いでゆくためにも、継承する人材育成や確保が必要であると思います。芸術文化団体は積極的な活動をしていると思いますので、引き続き活動支援の充実を図っていただきたいと思います。

②小さい頃から、村の歴史、文化に親しむ機会を増やし、自然に村への愛着が湧く活動ができれば良いと思う。また、本物の芸術に触れる機会を作り、村民の豊かな心を育むきっかけになれば良いと思う。

③今後伝統の継承が途絶えないような方法、仕組み作りが必要ではないか。また村民、村外の方がいつでも体験出来る環境も作った方がより身近に感じるのではないか。展示物、保存物に関してはこれから開くであろう施設を有効活用し進められればと思う。

5 安心して子育てができる環境整備と幼児教育の推進

実現状況

こどもセンターにおける幼児教育の充実に努めるとともに、子育てへの負担感や不安を軽減し、安心して子育てができるよう支援体制の充実や子育て環境の整備に努める。

未実施	検討中	進行中	実施済
-----	-----	-----	-----

(1) こどもセンターにおける幼児教育の推進

① 基本的な生活様式の確立	0	0	6	4
② 遊びを中心とした課題別教育保育活動の充実	0	0	6	4
③ リズム運動や体を動かす遊びの充実	0	0	6	4
④ 読み聞かせやお話会の実施など本好きな子を育む活動の充実	0	0	6	4

(2) 放課後児童クラブなど子育て支援体制の充実

① 子育て相談・指導、学習・交流の場の積極的な提供	0	0	6	4
② こどもセンターに在籍する保護者に対する子育て支援強化	0	0	6	4
③ 家庭教育・子育てに関する情報の提供	0	1	7	1
④ 児童クラブの活動の充実と環境整備	0	0	8	2

《教育委員評価》

①幼少期(プレゴールデンエイジ)の運動環境づくりが、将来の子どもたちの運動能力を決めるので、リズム運動や体を動かす遊びの取り組みは素晴らしいと思います。

放課後児童クラブに入る児童が増えているため、子どもたちが安全な環境で活動するために、支援強化が必要であると思います。

②こどもセンターでは、リズム運動や裸足保育といった、五感に働きかける活動が充実している。また絵本に親しむ機会も多く、子どもの発達により幼児教育ができていると思う。

③こどもセンターでの読み聞かせやリズム運動は教員の方々が幼児と向き合い行動している。子育て支援は十分くらい実施している、児童クラブの環境も良い。

6 住民のニーズに応える教育行政の推進

実現状況

村民の要望・要請に的確に対応する体制を整えとともに、新しい教育の展望に立つ教育行政を計画的に推進する。

未実施	検討中	進行中	実施済
-----	-----	-----	-----

(1) 提案型・課題解決型の教育行政の推進	0	3	7	0
(2) 義務教育学校開校に向けた準備	0	0	10	0
(3) 学校運営協議会の運用	0	0	8	2

《教育委員評価》

- ①義務教育学校開校に向けた準備については、準備室もできて着々と進行していると思います。学校運営協議会からコミュニティスクールへの移行もメリット等を協議しながら進めてほしいと思います。
- ②住民の要望や要請を聴く機会があったのか？教育行政と住民の距離が近いとはあまり感じない。義務教育学校の推進も住民に伝わっているのか疑問である。
- ③義務教育学校設立の協議会を発足し今後の事を協議していく段階、より良い物を創る為各方面からの意見、要望を頂き進めて行く。

（総括点検と評価）

①鮫川村は少子高齢化により児童生徒数が、減少の一途を辿っております。近い将来、少人数のクラスが増加し、多学年の混合クラスになる可能性もあります。これから、教育環境の変化や教育内容の変化、教職員の負担、教育格差等の課題や、AIやデジタル教材の導入で、学校教育が変革の時期を迎えるのではないのでしょうか？教育もどんどん進化し「新しい教育のスタイル」に変わっていくと思います。

また、子供たちが少なくなるこ教育と言っても、内容が多岐にわたり、評価項目が多く、全てを取り組むことは大変だと思うが、検討中、未実施のものが早期に実施できれば、良いと思う。また、義務教育学校の設置が、直近の大きな課題になると思うが、多くの方の意見を取り入れ、理想の学校に近づけながらも、安心安全な学校を設置できることを望む。地域・社会との連携強化がますます必要になってくると思います。

②教育と言っても、内容が多岐にわたり、評価項目が多く、全てを取り組むことは大変だと思うが、検討中、未実施のものが早期に実施できれば、良いと思う。また、義務教育学校の設置が、直近の大きな課題になると思うが、多くの方の意見を取り入れ、理想の学校に近づけながらも、安心安全な学校を設置できることを望む。

③今現在実施している事は素晴らしい内容だと思いますが未実施の施策は今後どうするのか、項目から外しても良いのでは。また検討中の項目も同様。実施内容に関しては前年踏襲の内容が多く見受けられる。変更しながら進化していかないと何も変わらないと思う。